

開講年度・学期	2017 年度・前期	授業形態	講義
科目名	日本近代法制史	科目ナンバー	JAFUN2204
英語表記	Legal History of Modern Japan	担当教員	小野 博司
単位数	4		

#### 科目の主題

19 世紀後半から 20 世紀前半にかけての法の歴史（＝近代法史）とその意義を解説します。

#### 授業の到達目標

近代法史の基本知識を修得すること。

#### 授業内容・授業計画

取り扱う範囲が広いので、一部省略することがあります。

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	19 世紀後半における法の継受の方法①（翻訳による継受）
第 3 回	19 世紀後半における法の継受の方法②（外国人による継受）
第 4 回	19 世紀後半における法の継受の方法③（法律家による継受）
第 5 回	刑法史①（律型刑法）
第 6 回	刑法史②（旧刑法）
第 7 回	刑法史③（刑法典論争）
第 8 回	刑法史④（明治刑法）
第 9 回	刑法史⑤（刑法改正の動き）
第 10 回	民法史①（明治初年の法典編纂）
第 11 回	民法史②（「家」制度）
第 12 回	民法史③（旧民法）
第 13 回	民法史④（民法典論争）
第 14 回	民法史⑤（明治民法）
第 15 回	民法史⑥（民法改正の動き）
第 16 回	憲政史①（元老院国憲編纂）
第 17 回	憲政史②（明治憲法制定史）
第 18 回	憲政史③（明治憲法の構造と内容（前半））
第 19 回	憲政史④（明治憲法の構造と内容（後半））
第 20 回	憲政史⑤（帝国議会）
第 21 回	憲政史⑥（内閣）
第 22 回	憲政史⑦（官僚制）
第 23 回	憲政史⑧（軍部）
第 24 回	憲政史⑨（日本国憲法の制定（前半））

第 25 回	憲政史⑩（日本国憲法の制定（後半））
第 26 回	外地法史①（内地と外地）
第 27 回	外地法史②（台湾法史）
第 28 回	外地法史③（朝鮮法史）
第 29 回	外地法史④（満洲国法史）
第 30 回	まとめ

#### 事前・事後学習の内容

高校の教科書等を用いるなどして、日本史の基本知識については各自予習しておいてください。

#### 評価方法

期末試験を行います。

#### 受講生へのコメント

法史学はとてもおもしろい学問です。また、歴史を学ぶことによって、現在の法や政治についての理解が深められることもありますので、興味のある方はぜひ受講してください。

#### 教材

授業中に指示します。

#### その他

#### 履修可能最低年次

2 年次生以上